ZENFUREN
全附Ｐ連PTA研修会　第５回全国大会
2014年10月3・4日
号外
全国国立大学附属学校連盟
全国国立大学附属学校 PTA 連合会
〒105-0001 港区虎ノ門 1-2-29
虎ノ門産業ビル 8F
TEL：03-3591-2091
FAX：03-3591-2092

特別支援部会 PTA 会長会

第１部の特別支援 PTA 会長会では、演題「子どもの将来を見据えた PTA 活動」として、千葉大学教育学部附属特別支援学校・雪岡 雅 PTA 会長にお話しいただきました。また、第２部のテーブルディスカッションでは、各テーブルで活発な意見交換がなされました。

最初に岡山全附Ｐ連会長より、第４回で日比野克彦賞を受賞された佐久間さんが、特別支援学校卒業後も展覧会など活躍の場を拡げられていており、この場でご報告できることが嬉しいと紹介されました。

第１部では、「子どもの将来を見据えた PTA 活動～子どもや家族に必要なサービス、社会資源の構築～」と題して、千葉大学教育学部附属特別支援学校の雪岡雅 PTA 会長がパワーポイントを使用してお話しされました。まず、学校紹介・主な行事、PTA 活動組織についてのお話があり、その中で学校側の委員会と障害児者の将来を守る父の樹会という組織のお話をして頂きました。父の樹会とは、学校の在校生及び卒業生の父親たちが中心となる親の会で、「母親ばかりに障害児者の養育を負わせてはいけない、父親も一緒になって」という趣旨から命名され 1978 年に設立されたそうです。

デイケアや学童保育などから始め、現在では、「社会福祉法人・父の樹会」となり卒業後の就労場所の一つとしてパン工房や生活介護、就労支援Ｂ型、就労移行支援、日中一時支援事業、障害者支援施設（施設入所支援・生活介護）、グループホーム経営なども行っています。NPO ひだまりでは障害福祉サービス事業、成年後見制度への取り組みや個別相談なども行われています。

父の樹会で驚いたのが、現在 400 名以上の会員がいる事と、学校との繋がりでした。学校に隣接するように近所の土地を買い、建物を建築し、地理的な繋がりもあることです。また、立ち上げは、当時の国立特別支援学校の校長先生が発案したもので現在も学校側の協力・理解が得られていることは大きいと感じました。在校生・保護者へのサポートも充実しており、研修会やセミナー、子どもの一時預かり、情報提供、個別相談支援なども行われており、在校中から父の樹会との連携支援が取れているようでした。「〝親亡きあとは親あるうちに〟社会と共に！学校と共に！家族と共に！」という言葉も心に響き、私自身障害児の親の一人としてとても興味深く、参加された皆さまも今回ご紹介頂いたお話から何かを感じ何かを得る機会になったのではないかと思います。

第２部でのテーブルディスカッションは、限られた時間の中ではありましたが各テーブルで色々なお話がなされ、どのテーブルも話題に尽きることなく時間いっぱいまで盛り上がり、大変有意義な特別支援部会 PTA 会長会となりました。

長崎大学教育学部附属特別支援学校
PTA　本田律子　取材